

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 7月 4日 更新

事務事業名		天文台活用事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会	課長名	上原 哲也
	施策	21	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	竹田 直広
	基本事業	67	学習への参加機会の提供			所属班	図書館班	(内線)	2512
予算科目	会計一般	款 10	項 5	目 8	事業連番 10814	法令根拠	成果優先度評価結果 : ④ コスト削減優先度評価結果 : ⑨		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	図書館天文台を一般公開しての、毎週土曜の夜の星空観望会(定期)や、その他天文現象に合わせての特別観望会(不定期)を開催。その他、星空や天文に興味を持ってもらう市民参加型のイベント開催しており、これらの星空の解説や各種望遠鏡の操作といった天文台の運営はボランティアの天文台指導員が行っている。西合志図書館を開館するにあたり、なにか特徴ある図書館できないか、ということで天文台を設置した。その施設を活用し、住民に科学への関心を持ってもらい、生涯学習活動に生かしてもらう目的で、平成8年度から一般公開を開始した。・合併後、旧合志町の住民の方に天文台の存在が広く広まった。・ボランティアの天文台指導員の登録者減少により、利用者が多数の時の天体解説等に対応できない時がある。そのため平成18年度より天文台指導員養成講座を開講し新たなボランティアの養成を行っている。
【業務の流れ】	年間計画の作成。定期・特別観望会、イベントの開催。天文台広報チラシ(毎月)の作成。団体からの依頼星空観望会への対応。
【主な予算費目】	報償費(天文台指導員)、消耗品費(広報チラシの用紙)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	利用者からは、合併後、議員からもっと市民にその存在や活動をアピールしてもらいたいとの意見が寄せられた。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	毎週土曜日の定期観望会のほか、特別観望会等を行った。延べ769人の参加があった。	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 日	予算の主な増減の理由
→ ア: 開催日数	イ:	指導員の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	天体に興味がある市民及び周辺自治体住民	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア: 市民 人
		イ: 県民 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	多くの人に天文台を知ってもらい、利用してもらう	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→ ア: 利用者数 人
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度 実績(決算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	25年度 予定	26年度 見込	27年度 見込	
① 活動指標	ア	日	36	38	35	34	35	35	0	0	
	イ										
② 対象指標	ア	人	54,944	55,498	55,000	56,595	55,000	55,000	0	0	
	イ	人	1,815,985	1,811,204	1,820,000	1,811,490	1,820,000	1,820,000	0	0	
③ 成果指標	ア	人	1,028	818	1,400	841	1,400	1,400	0	0	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	435	426	1,154	894	1,099	584	584	584
		(A) 事業費計	千円	435	426	1,154	894	1,099	584	584	584
		(A)のうち指定経費	千円	0	4	14	9	14	14	14	14
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	4	14	9	14	14	14	14
		正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4	4
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	115	172	192	182	192	192	192	192	
	(B) 人件費計	千円	457	708	791	734	791	791	791	791	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	892	1,134	1,945	1,628	1,890	1,375	1,375	1,375	

事務事業名	天文台活用事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 今年度は6月の梅雨の時期以外にも、12月の天文台ドーム改修工事のため中止となったため、開催予定日数の目標達成に及ばなかった。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 今年度は、改修工事等の見込みはないので、雨天時以外の中止を除き、前年度同様定期観望会の開催をするところである。また、特別観望会等を予定しているので目標達成余地あり。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 もっと天文台の存在や活動をアピールし、市民をはじめ多くの方々に利用してもらう。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似の目的 (意図・対象) をもつ事業が他にない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 活動の計画や準備、一般公開といった運営のほとんどをボランティアの天文台指導員に協力いただいているため。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 活動の計画や準備、一般公開といった運営のほとんどをボランティアの天文台指導員に協力いただいているため。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 無料で公開しているため。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 現在の展望会の開催は天文台指導員 (ボランティア) が行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

毎週土曜日に行われている観望会は指導員が中心になって開催している。また、参加者の入場を無料としているため、多くの市民に高度な天体観測及び情報を提供することができている。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) 今後も、毎週土曜日の定期観望会を継続して行う。また、特別な天文現象の情報をキャッチして、特別観望会をできる範囲で実施し、利用者に広く天文への関心を高めるよう努力する。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策 すべての天文指導員に、公平に望遠鏡等の機器操作をしてもらい、今より更に、天文台全体に関わっていただくよう努力する。																					